

前回の副反応検討部会(1月20日開催)では、接種に当たり注意すべき事項として、委員より以下のような意見があった。これらの注意事項に追加すべき留意点等はあるか。

1. 子宮頸がん予防ワクチンは、接種部位に強い痛みが生じやすいワクチンであることや、有効性について、接種前に十分な説明を行うこと
2. 接種後の強い痛みなどにより生活の質(QOL)が低下するような事態が生じた場合には、それ以降の接種の中止や延期を検討すること
3. 過去の接種時に強い痛みなど苦痛を受けたことを自己申告してもらえよう予診票を見直すこと
4. 子どもたちが安心して接種を受けられるよう、かかりつけ医での接種を推奨すること